

# インフルエンザ流行中！ 手洗い・うがいの徹底を！！

11月以降、南丹地域でインフルエンザが流行しています。すでに予防接種を打たれている方も多いかと思いますが、もし38度以上の熱が出て、咳やのどの痛み、身体の倦怠感などの症状が出た場合は、早めの病院受診をしてください。

インフルエンザを含む、感染症予防の基本は、手洗い、うがい及び、マスクの着用です。外出時にはマスクを着用し、正しい方法で手洗いをしましょう。

## 正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



厚労省

検索



【出典】政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/200909/6.html>

## NPO 法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53

■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017

■e-mail: info@cloverservice.or.jp

■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

## クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1

■TEL & FAX (0771)88-0138

■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR

# 映画の本・歴史のこと

## 〈第10回〉 西本正と香港映画



有田誠(ありたまこと) 京丹波町在住の映画愛好家。  
写真は、香港九龍城。1981年筆者撮影。

に使わせてくれたのである。武器が壁を占拠している。その点検に二人組の警官がやって来た。イギリス人と中国人が組んでいた。香港はイギリスが支配している

と、改めて思わされた。中国への返還まで二十年を切っていた。その医師は、

医学そっちのけで、<sup>カントン</sup>広東へ野菜の買い付けに行った。香港を見限り、カナダ移住の資金稼ぎに忙しかったのである。

そんな中でも、突然夜現れて、「メシ食いに行こう」ともてなしてくれた。ある時は、まったく知らない人のアパートに連れて行かれた。言葉が通じないままに、あり合わせのおかずでごはんを一緒に食べた。この混乱するような滞在が、何とも心地よかった。

旅行の「成功」の目安は、土地の人に「ごちそうになることである。」

### 鈴木則文監督との一日

『トラック野郎』シリーズ十作の鈴木監督が、真田広之主演『吼えろ鉄拳』(一九八〇)のロケハンで香港に来た。同コンビによる前作『忍者武芸帖 百地三太夫』(一九八〇)のとき、撮影の中

島徹カメラマン宅で食事と一緒にしていたので、ロケハンに同行させてもらった。返還前の香港は、猥雑な活気に溢れ、何でもありの東映と相性がよかった。「おれは資本主義だろうと共産主義だろうと頼まれれば(その裏をかいて)何でも撮るもんね」と、香港で言う鈴木監督は、実に良かった。

一行は、北坂カメラマン、



香港でロケハン中の鈴木則文監督(左から二人目) 1981年筆者撮影

藤原助監督、本田プロデューサーの四人、そこに現地在住の年輩の日本人男性が案内役として現れた。街中のロケ現場などを手際よく確認したのち、彼は

ゴールデン・ハーヴェスト(嘉禾電影有限公司)撮影所に我々を招待してくれた。所内の人たちの彼に対する態度は、礼儀正しく、尊敬がこもっていた。何か大物という感じがする。

西本正。香港映画の技術

### 一九八一年 香港

四十年以上前になるが、

風景。

る。乱雑で騒々しい香港的

初めて香港に行った。友だちの知人に頼んで、その夫の医師が所有するアパートに泊まれることになった。

おかしかったのは、そのアパートが武術道場で、夕方からはその練習に使われるのだ。早朝から午後にかけては、深夜営業のタクシー運転手が寝る。夜遅くから朝までの「空き時間」を私

高層の老朽化した棟が建ち並び、両側から道路に向けて洗濯物がひしめいてい

ら朝までの「空き時間」を私

を三十年に渡って支えたカ  
メラマンである。

大連に育ち、満映から敗戦

後、新東宝で中川信夫監督

と『東海道四谷怪談』（一九

五九など八作でコンビを組

む。香港で『楊貴妃』（一九六

〇）を撮り、カンヌ国際映画

祭でフランス高等映画技術

委員会色彩撮影賞を受賞。

ブルース・リーに請われて

『ドラゴンへの道』（一九七

二）、『死亡遊戯』（一九七三）

を撮影した。



西本正と李香蘭(山口淑子) 1957年

### 香港までの西本正

一九二八年、福岡に生れ、

六つで両親を失くす。姉の

嫁ぎ先の満州大連に渡る。

姉の夫は満鉄社員で、二人

の養子となった。

満鉄系の満州科学工業に

就職したが、新聞広告で「満

洲映画協会撮影技師見習募

集」を知って、応募する。

四十倍近い試験に合格、日

米開戦の年に入社した。養

成所の主事で、戦後東映の

動画部に入ったのが赤川孝

一。赤川次郎の父である。

翌一九四二年、大日

本映画協会の教育機関、

日本映画学校に派遣さ

れる。内田吐夢の『飢

餓海峡』（一九四五）、『人

生劇場 飛車角と吉良

常』（一九六〇）の仲沢半

次郎カメラマンとは同

期。野村芳太郎と松本

清張作品でコンビを組んだ

川又昂は 二年後輩だった。

満映から中国人として唯

一派遣されたのが、馬守清。

彼は満映解散後の責任者と

なった。その後、北京で毛

沢東や周恩来など大物のニ

ユース撮影は、すべて彼が

担当したらしい。岸富美子・

石井妙子の『満映とわたし』

（文春二〇一五）に馬守清のこ

ともふれられている。張藝

謀<sup>モウ</sup>は彼の弟子にあたる。

東京留学中の西本正の最

初の下宿先は、芝の連れ込

み宿だった。閉口して右翼

の担当課長に相談すると、

筑前玄洋社の頭山満の高弟

がやっていた高田馬場の松

左塾に入れられた。朝六時

起床で座禅、夕方は禪をつ

けて相撲が日課だったらし

い。

満映復帰後は撮影助手と

して敗戦を迎える。満映

の関係者の多くが、新京

（長春）より北、ジャムス

近くの鶴崗炭鉱に送ら

れた。団長の内田吐夢が

帰国したのは、一九五四

年だった。抑留中に東京

の妻が読んだ和歌――

遠つ国の君は帰らず

いく年のわびしき春を

子と送りしか

西本正は、馬守清に新京

残留とされ、ソ連兵の略奪

に対する夜警グループをつ

くった。武川寛海という人

が一緒に、ゴダイゴのタケ

カワ・ユキヒデの父親。戦

後、東映京都の企画部長を

やった辻野力弥とは、食っ

ていくために商売をしたと

のこと。戦後できた東映は、

満映出身者の受け皿になっ

ていた。七十年代まで太秦

には満州帰りがいっぱい

たのである。（この項続く）

### 〈前号補遺〉

関東軍七三一部隊にふれ

た松本清張作品が三作ある。

『屈折回路』（一九六五）、『小

説帝銀事件』（一九五九）、『日

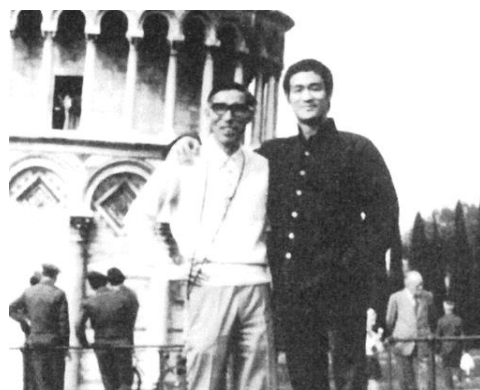
本の黒い霧 帝銀事件の謎』

（一九六〇）である。七三一部

隊関連では今年も一冊、中

脇初枝の小説『伝言』（講談

社二〇二三）が出版された。



西本正とブルース・リー(イタリア1973年)



## 菊の花、テイクアウトを彩る!

須知高校から今年も立派な菊の花をお借りしました。色とりどりの菊の花がデイサービスの玄関を彩り、利用者さん、職員、そして道ゆく町の人たちの目を大いに楽しませてくれました。

須知高校の生徒及び、教職員の皆様、ありがとうございました。また同校は今年の日本菊花全国大会、三本立花壇の部で、農林水産大臣賞を受賞されました。おめでとうございます!

### 年末年始の休業

今年度の年末年始の休業日は、下記の通りです。

送迎のご予約や、各種サービスのご質問、お問い合わせ等は、年内のなるべく早いうちにお願い致します。

12月28日	木	仕事おさめ(通常営業)
29日	金	休業
30日	土	休業
31日	日	休業
1月1日	月	休業
2日	火	休業
3日	水	休業
4日	木	仕事はじめ(通常営業)

事務所が休みですので留守番電話での対応とさせていただきます。

病院送迎もお休みです。

### <賛助会員>

- (有) あさひ堂
- (株) 一谷住宅
- イン・ザ・ルーム 亀岡店
- 上段税理士事務所
- (株) 高木設備
- たにやま鍼灸接骨院
- 田端輪業
- (有) 土佐寿司
- (有) 永田損害保険事務所
- (有) 西村テレビ
- 三木歯科医院
- みづほ電工
- 理容ちどり

(五十音順)

### 編集後記

38年ふりに日本一になった阪神タイガース、勤労感謝の日には大阪・神戸で開催された阪神・オリックスの優勝パレードには100万人もの人が詰めかけ、大いに盛り上がりました。▼私も38年前のことはすっかり覚えていません。当時の小学校の担任が大の阪神ファンで、試合経過が気になって(校長に掛け合い?)授業中にテレビ中継を一緒に見たことを覚えていています。確か道徳の授業だったと思いますが、今から思えば担任の私欲でそんなことをしているものか?今の時代なら大問題にもなりかねないな...とも思うのです。が、38年も経てばもう時効ですね。今年も恩師はどこかで日本一に歓喜していると思います。▼熱狂的なファンが多い阪神タイガース、オリックスの本拠地である大坂ドームですら、圧倒的な阪神ファンで埋め尽くされていました。昔からオリックスファンの私は、同じ関西なのにメディアでの取り上げ方も阪神寄りで、どうも納得いかないのですが、なんにせよ、関西が盛り上がったこの秋、第7戦までもつれこんだ好勝負楽しませてもらいました。▼ホームランや、好プレー、野球には色々見どころがありますが、今回の日本シリーズで一番印象に残ったのは、第4戦で先発したオリックス山崎福也(さちや)投手がバッターボックスに立った時の姿でした。オリックスが所属するリーグは、指名打者(DH制度)により、投手はバッターボックスに立ちません。もともとバッティングも好きな選手なので、打つのがよほど嬉しかったのか?笑みを浮かべていたのか?とても印象に残りました。▼日本一を争う試合の中で笑みすら浮かべるその余裕、大器の予感です。残念ながら来期は同じリーグの日本ハムに移籍することが決まりましたが、山崎投手の今後の活躍をお祈りします。

〈編集子〉